

科目名	疾病論Ⅰ・Ⅱ					開講 キャンパス	神 埼
担当者	榎 本 千 珠 子						
開講年次	2	開講期	前期・後期	単位数	各2	必修・選択	必修(Ⅰ)・選択(Ⅱ)
授業の概要 及びねらい	各疾患の成因・病態・診断・治療について解説する。生活習慣が疾病の中心である現代医療の中で、栄養士の果たす役割は、とても大きく、重要であることを説明する。						
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人体の仕組みを理解する。人間は60兆個の細胞から成り立つ生物である。全体性という原理をもち外界に対して能動的である。自然界の法則に従うという特徴を持つ。</li> <li>2. 器官別に形態や機能、主要疾患の成因、病態、診断及び治療の概要を理解する。</li> <li>3. 感染、免疫と生体防御、悪性腫瘍等も、その機構と関連疾患を系統的に理解する。</li> <li>4. 各々の生命が、いかなる時も、十全にその力を発揮できるように、もっとも身近な生活の援助者として、栄養士は食事を通じて深く関わっている事を理解する。</li> </ol>						
学習方法	講義(テキスト使用)						
テキスト及 び参考書等	疾病の成り立ち：臨床医学／田中明編 建帛社						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	○	○				90	
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度			○			5	
受講者の発表							
授業への参加度			○			5	
その他							
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画(学習内容・キーワードとスケジュール)							
通 年	第1週	問診と全身所見					
	第2週	治療について					
	第3週	糖尿病(Ⅰ)					
	第4週	糖尿病(Ⅱ)					
	第5週	高尿酸血症					
	第6週	肥満………					
	第7週	メタボリックシンドローム					
	第8週	末期医療、緩和医療、尊厳死					
	第9週	消化性潰瘍					
	第10週	胆のう・膵臓疾患					
	第11週	潰瘍性大腸炎・クローン病					
	第12週	食道癌・胃癌					
	第13週	大腸癌・便秘症					
	第14週	肝疾患(Ⅰ)					
	第15週	肝疾患(Ⅱ)					
	第16週	試験					
	第17週	高血圧・動脈硬化					
	第18週	虚血性心疾患					
	第19週	腎疾患(Ⅰ)					
	第20週	腎疾患(Ⅱ)					
	第21週	内分泌疾患					
	第22週	脳血管障害					
	第23週	アルツハイマー病・パーキンソン病					
	第24週	呼吸器疾患(Ⅰ)					
	第25週	呼吸器疾患(Ⅱ)					
	第26週	骨粗しょう症					
	第27週	免疫					
	第28週	アレルギー疾患					
	第29週	エリテマトーデス・関節リウマチ					
	第30週	臨床検査					
	第31週	血液疾患					
	第32週	試験					
備考	授業外学習(事前学習・事後学習) 講義終了後は、必ず復習をし知識の定着を図ること						